

## 立ち止まって考えて！ ネット利用の仕方

総務省の令和6年度青少年のインターネット利用環境実態調査結果によると、中学生の98.2%がインターネットを利用しており、利用機器は、スマートフォン82.0%、GIGA端末74.7%、ゲーム機70.1%、テレビ64.9%の順になっています。

GIGA端末が導入された当時や、スマートフォンを使い始めた時、学校の先生方や親御さんと使い方のルールを確認したり、賢い利用の仕方や危険を回避する方法を考えたりしたものと思います。

しかし、使うことが当たり前になっている今、冷静に自分の利用状況を見つめ、自分や友達、家族が幸せになる使い方ができているか考えてみる必要があります。自分の行動を正しく制御できる附中生であってほしいと思います。

2月27日(金)3校時に、情報モラル講演会を予定していますので、この時間も、自分の状況を見つめる機会にしてください。

また、こども家庭庁から、青少年のインターネット利用に係る保護者向け普及啓発リーフレット「毎日ネットに触れるこどもたちを守るために」が公開されました。保護者の皆様には、是非御一読いただき、インターネット利用についてお子様と一緒にお話しになってください。

その際、大人から子どもに対する一方的な叱責、批判、禁止の指導等を避け、どうするのが良いのか対話することが大切です。もちろん、無関心や放任、または遠慮も禁物です。

[こども家庭庁Webサイト] <https://www.cfa.go.jp/policies/youth-kankyuu/leaflet/>



### インターネット利用 7か条

- 1 インターネット社会でも、実生活と同じルールとマナーを守る。
- 2 他人のプライバシーを尊重する。
- 3 住所・氏名などの個人情報を入力する時は、十分注意する。
- 4 ID・パスワードの管理を徹底する。
- 5 他人のミスを大げさに指摘しない。
- 6 メールを送る前に、内容をよく確認する。
- 7 面と向かって言えないことは書かない。

(警視庁Webサイトから)



## 性教育講話



2月4日(水)3年生の保健体育科授業において、長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科教授の藤田則子様をお迎えして、性についての学習を行いました。

本校教員から性感染症等の基礎的な内容を説明した後、藤田先生から、産婦人科医として、また海外での医療従事経験等の豊富で高度かつ専門的な知見に裏づけられたお話がありました。

2月25日(水)には、今回の授業を受けて、各生徒が考えたことや疑問点、関心を基に、性衝動や性的欲求をコントロールして行動することの重要性を認識するとともに、自らの性行動の在り方を考える授業を行う予定です。デリケートで話しにくい内容ですが、とても大切なこと。卒業前に正しく理解し、望ましい判断ができるようになってほしいと思います。

## 感染症に十分注意しましょう

1月30日(金)に、各学級で指導(保護者へは安心安全メールでのお知らせ)があったとおり、県内のインフルエンザ感染は依然として警戒レベルのままです。また、長崎市内では感染性胃腸炎の報告数も上昇しているようです。

お互いに、5つの予防対策を徹底しましょう。

### 感染症予防対策強化中

- 1 人混み回避 or マスク
- 2 手洗い、うがい、飲茶
- 3 室内の加湿、換気
- 4 栄養、睡眠→抵抗力
- 5 早めの休養

## おめでとう

部活動の成績や、学校を通して出品した作品等に係る表彰について御紹介します。

第52回長崎県アンサンブルコンテスト(長崎県吹奏楽連盟、朝日新聞社)

金賞 伊藤 怜 辻 春翔 坂本智哉 浦川想介 緑川麻亜玲